

中世②「室町時代」

室町時代の社会・経済・文化 C

 7分

1. 右の略年表を見て、次の問いに答えなさい。

(1) (あ) にあてはまる文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 東大寺南大門が建てられる。
- イ 平等院鳳凰堂が建てられる。
- ウ 銀閣が建てられる。
- エ 金閣が建てられる。

[1]

年代	できごと
1333 (1334)	建武の新政が始まる。
1338	足利尊氏が征夷大将軍となる。
1397	(あ)
1428	い <u>正長の土一揆</u> がおこる。
1467	う <u>応仁の乱</u> がおこる。

(2) 下線いについて述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 京都周辺の農民などが酒屋や土倉をおそって借金の証文などをうばった。
- イ 京都の南部の農村に住む武士が守護大名を追い払い、農民の支持を得て自治を行った。
- ウ 11年にわたる戦乱が京都から全国に広がった。
- エ 現在の石川県のある地域で、浄土真宗の信者らが団結して守護大名をたおし、自治を行った。

[2]

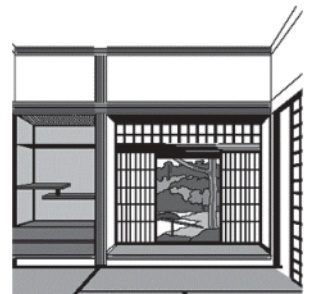
(3) 下線うのあと、実力で領国を支配する大名が登場し、分国法を定めることもあった。このような大名を何というか。

[3]

(4) 年表に示した時代に栄えた文化について、次の問いに答えなさい。

① 右の図は、寺院の様式を取り入れた武家の住宅の様式でつくられた部屋を表している。このような住宅の様式を何というか。

[4]



② この時代には、どのような文化が栄えたか。「公家」「武家」「禅宗」という語句を用いて簡単に答えなさい。

[5]

次ページにつづく ▶▶▶

2. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

14世紀前半、建武の新政と呼ばれる政治が行われ、その後、1338年に征夷大將軍せいゐたいしやうぐんに任じられた足利尊氏が幕府を開いた。朝廷は京都と吉野の2つに分かれ、第3代將軍のときに統一されるまで、全国で動乱が続いた。社会が安定すると、明や朝鮮国との貿易もさかんになり、あさまざまな産業も発達した。15世紀には琉球王国が建てられ、中継貿易で栄えた。

(1) 下線あに関して、このころつくられた座とは何か。簡単に説明しなさい。

[6]
